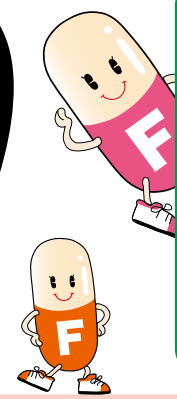
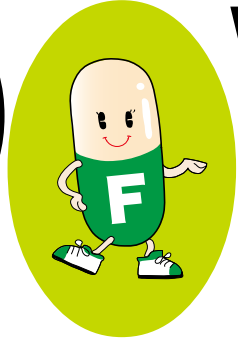


# POWER!



2022年  
9月  
vol. **81**

令和4年(2022年)  
9月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

## 8/3 (水) 臨時国会が召集され、 神谷まさゆき参議院議員が初登院!!



日本薬剤師連盟 会長 山本 信夫

### 第26回参議院議員選挙を終えて

第7波となる新型コロナウイルス感染症拡大の明確な終息点が見通せず、官民一体となってその対応に追われる中、八月上旬東北地区を中心に発災した記録的な水害に加えて、台風八号等による風水害により、被災された皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。異常気象に見舞われ、なお全国で安穏な生活が送れない毎日が続いていますが、会員各位におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと拝察致します。

令和2年3月25日に「神谷まさゆき氏」を組織内統一候補と決定してから2年半が経過しました。その日から、今日までを振り返ってみると、決定後間もなく4月7日に第一回目の緊急事態宣言が発令されました。パンデミックという言葉は承知しておりましたが、医療技術が進んだ現代にあつて世界を席巻するコロナ・パンデミックが発生しようなどとは思いもよらぬことでした。

「人と人が接し、お互いの信頼関係を結んで支援の願いをする」これが選挙活動のイロハと習い、どれほどテクノロジーが進化しても「選挙はどぶ板しかないのです」と先輩諸氏から厳しく言われてこれまで選挙を戦ってきました。しかしながら、コロナ禍において行動制限を受けて始まった活動は、その全てを奪い去り、暗闇を手探りで歩くような不安に苛まれつつも「他の候補も条件は同じ」と自分を鼓舞しながらの2年4カ月でした。こうした暗中模索のような後援



参議院議員 神谷 政幸

### 参議院議員選挙を終えて

会活動を進めながら、現代のDXは確実に、選挙活動・支援者拡大活動さらには日々の連盟活動も、その形態を大きく変化させたと感じています。日本薬剤師連盟役員会ではウェブ会議が主となり、6月にはリモートによる神谷まさゆき氏の全国支部訪問が始まりました。タブレット型端末を持ち歩き都道府県訪問、支部回り、薬局や医薬品卸会社等への訪問が続きました。

独自に作成した「感染防止対策マニュアル」に従い候補者自身もPCR検査を実施して、訪問先の都道府県の受け入れ体制を確認しつつ実際に薬局・医薬品卸業の各支店への訪問も精力的にこなし、ウェブ訪問と併せてのハイブリッド方式を最大限に活用し、コロナ禍にあつても効果的な後援会活動の実現を目指しました。

不安が渦巻く中、投票日翌朝6時5分にNHKほか各メディアから「当確」が打たれた瞬間の支援者の皆さんの笑顔が今も脳裏から離れません。コロナ禍による厳しい行動制限が実施される中、神谷まさゆき支援の輪を広げるために精力的に活動を頂いた、都道府県薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様、支援団体の方々に心よりお礼を申し上げます。皆様のお陰を持ちまして、藤井基之参議院議員から神谷まさゆき参議院議員へ参議院議員バッジが引き継がれ、組織内代表2議員体制を維持することが出来たことを報告申し上げますとともに、改めて皆様の「尽力」に感謝申し上げます。

7月11日(月)午前6時5分、NHKが当選確実を伝えた時、嬉しさはもちろんでしたが、ほっとする思いが強かったことを思い出しています。結果を待っていた間、2年以上にわたって支えていただいた全国の薬剤師の皆さん、支援団体の皆さんのご苦労を無駄にすることにならないか、組織代表議員2人体制を堅持できなかつたらどうしようかなどの不安が頭をよぎっていたからです。当選確実の報道の後、選挙事務所まで明け方まで待機していたいた多くの支援者の皆様から拍手で迎えていただきました。組織内統一候補として決定されたからの全国訪問活動を思い起こしながら、心からお礼の挨拶をさせていただきます。全国の皆様本当にありがとうございます。私に課された大きな役割を果たすことができ、新たな一歩が始まったのだという気持ちでいっぱいになりました。2年4か月にわたってご支援をいただいた多くの皆様に改めて御礼を申し上げます。

出陣式から投票日、更に当選報告会の模様については8月のPOWER号外で伝えていただきましたので、選挙後

の動きについて報告させていただきます。

7月15日(金)には総務省を訪問し、中央選挙管理委員会長名の当選証書と議員バッジを受け取り、19日(火)には、参議院自民党主催の新議員説明会に参加しました。そして、26日(火)から藤井先生の後継としての参議院議員の任期が始まりました。8月3日(水)に臨時国会が召集され、初登院を果たし、国会対策委員会、議員総会、本会議(議席の指定、議長・副議長の選挙等)、両院議員総会、本会議会期の決定と続き、最後に天皇陛下をお迎えしての開会式という日程をこなしました。

令和2年3月の日本薬剤師連盟の定時評議員会において組織内統一候補として決定いただいてからの2年4か月、コロナ禍という今まで経験したことのない不自由な状況の中で、多くの皆様のお支えがあつてこの日を迎えることが出来たのだという思いをかみしめての初登院でした。

この日の気持ちを忘れずに、薬剤師・業界の未来のために全身全霊を傾けて国政に取り組んで参ります。

元々池田先生の言葉は、日めくりどころか、年めくりにしなないと書いてある内容が腹の中に落ちてこない。

「二行目の「一人」が「あわよくば自分か」動き出した者を指しているのだろう。何を始めるのか?これは、仏法の話なので「求道者」としての歩みを示していると思う。

「何もできない」とは何が出来ないのか? 解答は、あらゆる事象に対する「真偽の判断」を継続する歩みではないだろうか?

私は、選挙の答えを求めて動き出した。一般的には「当選か落選」が終了点となる。「真偽」の判断からすればどのようなものだろうか。

支援活動を含む政治活動とは、「当落」のみを求めていないのではないかと? 真偽の核心に「縁」があると感じる。そして「縁を広げること」だ。政治活動は特別な期間を設けて行うことではない。日本薬剤師連盟等が行うことでもない。日々から縁を結ぶことだ。縁の広がりがある。それが出来ているか? 自問する。

選挙は日々の「人と人」と「人と人」の間(人間)にあり、三年ごとにあるのではない。日々の生活になったとき「真の政治活動」になるのではなからうか。

**風力計**

真実に出会うために

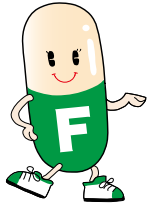


日本薬剤師連盟  
副会長 鳥海良寛

一人とは何となく  
だが一人は始まるには  
何となくはない



# 神谷まさゆきの選挙戦!!



第26回参議院議員通常選挙においては、神谷まさゆき候補は専ら地元愛知県内を街宣車とともに選挙運動を行い、もう一台の街宣車は重点地区9都府県を街宣するという活動を展開した。一方、街宣車がまわらない他の37道府県においては、街宣車によらない活動を展開することとし、4本の標旗を4つのルートでリレーし、選挙ビラの配布等の活動を行った。



## 神谷まさゆき、愛知県内の戦いの軌跡



### スタート

1日目 6月22日(水)



早朝、東京四谷・須賀神社で必勝祈願。10時、東京品川で出陣式。14時、愛知・豊橋駅で出発式。東三河(豊橋市)を中心に街宣。豊橋駅他で街頭演説。夜には岡崎薬剤師会ウェブ研修会で幕間演説。

2日目 6月23日(木)



東三河(豊橋市、新城市、北設楽郡)を中心に街宣。豊橋市市役所他で街頭演説。

3日目 6月24日(金)



東三河(豊川市、蒲郡市)を中心に街宣。JR豊川駅他7か所で街頭演説。

4日目 6月25日(土)



西三河(岡崎市、西尾市)を中心に街宣。JR岡崎駅で街頭演説。

5日目 6月26日(日)



東三河(豊橋市、田原市)を中心に街宣。田原市内5か所、豊橋市内7か所で街頭演説。

13日目 7月4日(月)



名古屋市(中区、西区、東区、昭和区、緑区)を中心に街宣。医薬品卸会社前、名鉄鳴海駅で街頭演説。医薬品卸会社で幕間演説。

14日目 7月5日(火)



尾張(一宮市、岩倉市、江南市、丹羽郡)を中心に街宣。医薬品卸会社前2か所、名鉄柏森駅で街頭演説。

15日目 7月6日(水)



尾張(稲沢市、津島市、あま市、愛西市、弥富市、海部郡)を中心に街宣。医薬品卸会社前で街頭演説。

16日目 7月7日(木)



尾張(春日井市、小牧市、犬山市)を中心に街宣。JR春日井駅、JR勝川駅で街頭演説。とかしきなおみ前衆議院議員が乗車。

6日目 6月27日(月)



西三河(豊田市、みよし市)を中心に街宣。名鉄豊田市駅、尾西庁舎前で街頭演説。

12日目 7月3日(日)



名古屋市(北区、千種区、中区、東区、熱田区)を中心に街宣。名古屋市内9カ所で街頭演説。

18日目 7月9日(土)



名古屋市(名東区、守山区、東区、中区、中村区)を中心に街宣。名古屋市内4カ所で街頭演説。愛知県薬剤師会館でマイク納め。

17日目 7月8日(金)



東三河(新城市、豊川市)を中心に街宣。豊橋魚市場他で街頭演説。

7日目 6月28日(火)



西三河(安城市、知立市、刈谷市、高浜市、碧南市)を中心に街宣。名鉄新安城駅、JR刈谷駅、名鉄碧南中央駅で街頭演説。

11日目 7月2日(土)



静岡県(浜松市、磐田市、袋井市)を街宣。JR浜松駅、JR掛川駅で街頭演説。

10日目 7月1日(金)



名古屋市(中村区、中川区、熱田区、南区、港区)を中心に街宣。医薬品卸会社前で街頭演説。

9日目 6月30日(木)



尾張(東海市、知多市、常滑市、半田市、大府市、知多郡)を中心に街宣。名鉄太田川駅で街頭演説。

8日目 6月29日(水)



尾張(瀬戸市、尾張旭市、長久手市、日進市、豊明市、愛知郡)を中心に街宣。地下鉄藤ヶ丘駅、名鉄前後駅で街頭演説。

### ゴール



# 街宣車活動：重点地区ルート

## 6月22日(水)、23日(木) 【熊本】

熊本県薬剤師会館で出発式を行い、熊本市、玉名郡市、荒尾市を街宣。両日、本田顕子参議院議員が乗車。



## 6月24日(金)、25日(土)、26日(日) 【福岡】

福岡市、北九州市、直方市、田川市、飯塚市、嘉麻市、朝倉市、久留米市、筑後市、八女市を街宣。24日は本田顕子参議院議員が乗車。



## 6月27日(月) 【広島】

東広島市、竹原市、三原市、佐伯市、尾道市、福山市等を街宣。



## 6月28日(火) 【岡山】

岡山市等を街宣。藤井基之参議院議員が乗車。



## 6月29日(水) 【兵庫】

明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市を街宣。本田顕子参議院議員が乗車。



## 6月30日(木)、7月1日(金)、7月2日(土) 【大阪】

大阪市、堺市、岸和田市、泉佐野市、富田林市、吹田市、池田市、茨木市、高槻市、箕面市、八尾市、東大阪市、交野市、四条畷市、大東市、寝屋川市等を街宣。7月1日は本田顕子参議院議員、7月1日と2日はとかしきなおみ前衆議院議員が乗車。



## 7月3日(日) 【静岡】

静岡市、富士市、沼津市等を街宣。



## 7月4日(月)、7月5日(火)、7月6日(水) 【神奈川】

小田原市、伊勢原市、厚木市、相模原市、横浜市、川崎市等を街宣。5日は松本純前衆議院議員が街頭演説、6日は本田顕子参議院議員が乗車。



## 7月7日(木)、7月8日(金)、7月9日(土) 【東京】

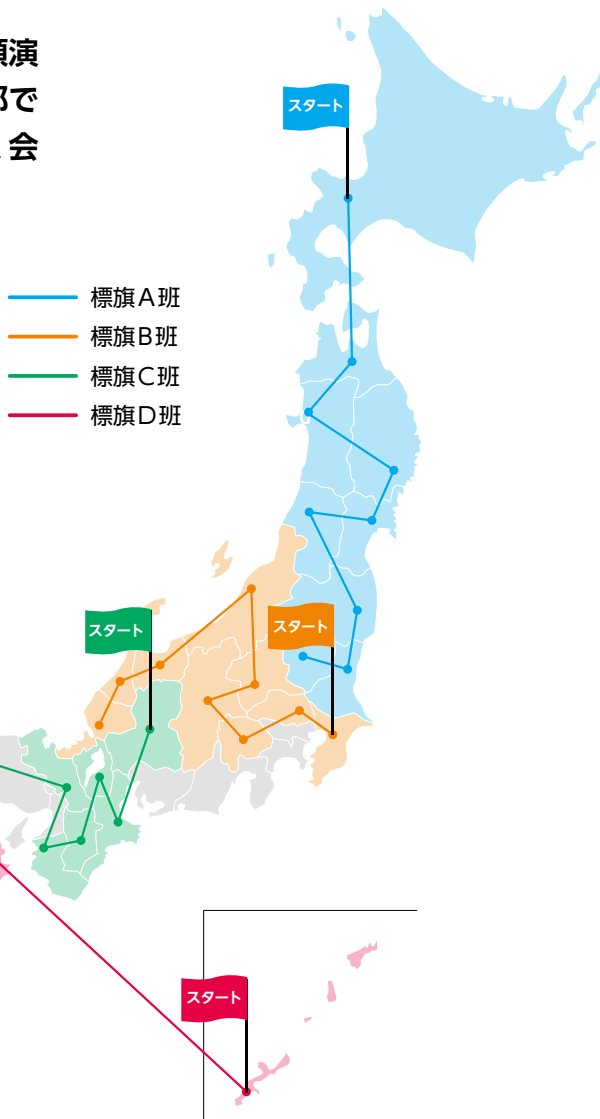
町田市、多摩市、稲城市、府中市、調布市、三鷹市、武蔵野市、杉並区、中野区、新宿区、渋谷区、品川区、大田区、世田谷区、葛飾区、足立区、板橋区、練馬区、江東区、江戸川区、墨田区、文京区、台東区、中央区等を街宣。AP日本橋前でマイク納め。神谷まさゆき選挙事務所で打上式。3日間、本田顕子参議院議員が乗車。9日マイク納めでは、松本純前衆議院議員が街頭演説。



# 標旗リレー (6月22日~7月9日)

「街頭演説」と「選挙ビラ(証紙貼付)」の配布は、中央選挙管理会から交付された「街頭演説用標旗」を掲げ、「街頭演説用腕章」を着けた運動員のみが行うことができます。全部で6枚あり、街宣車で使用した2枚の他、4枚の標旗を4ブロックでリレーしていくことで、会員の士気を高め、神谷まさゆき候補の当選を願って行われました。

- 標旗A班** 北海道▶青森▶秋田▶岩手▶宮城▶山形▶福島▶茨城▶栃木
- 標旗B班** 千葉▶埼玉▶山梨▶長野▶群馬▶新潟▶富山▶石川▶福井
- 標旗C班** 岐阜▶三重▶滋賀▶奈良▶和歌山▶京都▶鳥取▶島根▶山口
- 標旗D班** 沖縄▶香川▶徳島▶高知▶愛媛▶大分▶宮崎▶鹿児島▶佐賀▶長崎





出席した薬剤師首長・地方議員 紹介



江別市長  
三好昇  
北海道



大阪府  
辻淳子  
大阪府



赤平市議会議員  
北市勲  
北海道



吹田市議会議員  
池淵佐知子  
大阪府



滝川市議会議員  
荒木文一  
北海道



茨木市議会議員  
河本光宏  
大阪府



上富良野町議会議員  
元井晴奈  
北海道



西宮市議会議員  
植田篤治  
兵庫県



常総市議会議員  
遠藤章江  
茨城県



浜田市議会議員  
川神裕司  
島根県



市原市議会議員  
小沢美佳  
千葉県



総社市議会議員  
村木理英  
岡山県



千葉県議会議員  
市原淳  
千葉県



福岡県議会議員  
江頭祥一  
福岡県



成田市議会議員  
葛生孝治  
千葉県



長崎県議会議員  
宮本法広  
長崎県



大井町議会議員  
山崎真弘  
神奈川県



鹿児島県議会議員  
寶來良治  
鹿児島県



岐阜県議会議員  
川上哲也  
岐阜県



薩摩川内市議会議員  
阿久根憲造  
鹿児島県



東海市議会議員  
井上正人  
愛知県



鹿児島県議会議員  
池畑知行  
鹿児島県



令和4年度 薬剤師首長・地方議員意見交換会開催される

本田頭子参議院議員からは、「本日ご参加いただいた薬剤師首長・地方議員の皆様から現場の声を聞かせていただけて、しっかりと意見を聞き取りたいと思っています。組織として候補者をきちんと国へ送ることの大切さの意味を皆様にご承知のことと思います。神谷まさゆき氏への絶大なご支援をお願いする」と挨拶された。

令和4年5月23日(月)午後1時からAP日本橋において、令和4年度 薬剤師首長・地方議員意見交換会が開催された。現在、薬剤師の資格を持つ4名の首長と40名の地方議員がいる。このうち、1名の首長と21名の地方議員が参加し、原口常任総務の司会により意見交換会が進められた。山本会長から「本日、国会議員の皆様にお越しいただいております。国会において党派を超えてご活躍いただいていることにお礼を申し上げます。本日はお越しいただいて、

オレンジ日記

直面する重点課題を映し出す予算概算要求
参議院議員・薬剤師 本田頭子
8月31日、来年度予算要求の期限を迎えました。厚生労働省の一般会計予算は対今年度6,340億円増の約33.2兆円となり、岸田内閣が目指す「新しい資本主義」を実現し、その先にある、豊かさを実感できる社会の構築につなげていくために、保健、医療、介護、そして人への投資に重点を置いた予算となっています。



編集後記
少しずつの日常
コロナ禍の中、第26回参議院議員選挙の熱い戦いが終わりました。選挙活動の最中、安倍元総理が暴漢に襲われ亡くなるという前代未聞の事件がおきました。政治も世界情勢も混沌とした中で選挙戦に於いて、私たちが支援した神谷政幸氏が当選しました。無事藤井先生からのバトンが繋がりました。神谷参議院議員誕生に携わった一人として、感慨深いものがあります。

- 広報委員
鳥海 良寛、石井 甲一
大澤 泰輔、丹羽 松弘
橋本 昌子、加茂 雅行
和泉啓司郎、渡邊美知子